

わかば

2018. 7. 14
第18-13号
文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

重点目標 一人一人が輝く教育 ～期待登校・満足下校～

素晴らしい運動会でした。ありがとうございました。

当日は好天に恵まれ、寺岡 敬(てらおか たかし)総領事をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、第47回大運動会を開催することができました。今年は、赤組689点、白組679点の大接戦の末、僅差で赤組が優勝を勝ち取りました。

ご参観ご支援等、ありがとうございました。



在ポートランド領事事務所 総領事 寺岡 敬 様 (代表挨拶)	
日	ケイ エンドウ 様 ヘンリー ウエノ 様ご夫妻
系	ジョージ ナカタ 様ご夫妻
人	澤井 務 様 谷田部 勝 様
会	Chip & Setsy Lalouch 様

- ・開会の言葉 小6 山内 陽向 さん
- ・来賓挨拶 総領事 寺岡 敬 様
- ・選手宣誓 小1 赤組 大塚 和奏 さん
小1 白組 中村 将志 さん
- ・閉会の言葉 中3 近藤 寧々 さん



運動会を通して、心に残ったことを紹介します。

(1)園児、児童生徒の一生懸命な姿	日ごろの運動の成果を披露する場でもある運動会ですが、本校は事前に並び方や競技の予行練習をしている程度です。そのような中でも、一人一人が一生懸命に競技に臨み、すばらしい笑顔で頑張っていることが、なによりも印象に残りました。
(2)応援団の真摯な取り組みと友を思いやる心	どのような曲とダンスや振り付けでアピールするかなどを、団長を中心にしっかりと考え練習してきたことが、俊敏な動きや力強い声などから伝わってきました。相互に演技をしっかりと参観し、率先して手拍子をする姿に感銘を受けました。
(3)丁寧で懸命な、中高校生の係活動と心配り	中高生は係活動で、フィールドをあっちに行ったりこっちに行ったりして、園児、児童生徒の招集やゴール後の並びに動いてくれました。優しく声をかけたり、手を引いてくれる心配りの姿から、幼稚部から高等部までの一体感を感じました。
(4)高校生のたくましさユニークさ	障害物競走の後ろ向きスタートやカエル跳び、腕立て伏せなどのユニークさに加え、運動会の語り草になるような、紅白リレーでの胸の差一つのデットヒートのゴールは圧巻でした。「一生懸命」を体現してくれた、たくましい高校生たちです。
(5)教育委員、各係の保護者の懸命な姿に感謝	事前の打ち合わせや段取り確認、用具等の点検に加え、当日も早朝からの準備、競技中の用具等の搬出入、クラス写真撮影、円滑で巧みな放送、弁当の配布等、多岐にわたりご支援をいただきました。誠に、ありがとうございました。
(6)ご来賓と職員に感謝	ご来賓には、快く幼稚部の「おだんごころころ」への飛び入り参加や応援合戦の審査をしていただきました。閉会式にもご臨席をいただき、嬉しい限りです。また、厳しい暑さ中の練習等に汗を流してくれた全ての職員に感謝します。



運動会は、「する」「見る」「支える」というスポーツのあらゆる関与形態が一度に体験できる学校の一大行事であり、日本の貴重な文化遺産です。全ての写真を紹介することは出来ませんが、一枚一枚の写真から、園児や児童生徒、保護者の皆様の熱い闘いぶり、頑張り、そして多くの方々の運動会を支えていただいている様子が伝わってきます。誠に、ありがとうございました。 校長 信國 寿敏



児童生徒の作品紹介 VII



運動会が終わり、生徒の作品の提出がありました。中学部2年生の作品を、今回と次回の2回に分けご紹介します。校長 信國 寿敏

自己流枕草子

藏田 はな 後藤 美海
奥田 桃花 アシュトン 恵利沙

春は桜。風に揺られて舞って行く姿は、新学年での恋の予感を告げてくれる。

夏は海。つめたい海水にあつくほてった足を入れるとなんと気持ちの良いことか。

秋はもみじ。オレンジ色の背景が、冬の始まりをしらせてくれる。

冬はつらら。家のまどから見るつららが、太陽に反射して輝く姿はとても美しい。

恋草子

モーガン スーザン
成田 愛菜 島田 未伶

春は出会いと別れ
卒業式で友達と別れ
入学式で新しい友達に出会う

夏は青春

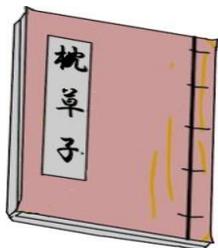
暑くなり部活などでもいそがしくなり
汗をのぞかせることも多くなり
その姿に恋心がめばえる

秋は失恋

秋という夏休みなどで
はずんだ心もしぼんでいき、
一つ一つものがなくなる気がする

冬は恋

バレンタインデーにクリスマス
寒い冬だからこそ
温かい恋をしたい



布団草子

石井 理奈
市川 樹里
小嗣 ありさ

春は花。辺りが色づき、道端に無数の花びらが落ち、いとをかし。また、虫が湧き出でわろし。

夏はそうめん。暑い季節にすすり 爽やかな気持ちになれる。

秋は紅葉。赤、黄、だいたい色。色とりどりの鮮やかな光景を目にすることができ

冬はつらら。家の窓から見える屋根の端にぶらさがる冬の結晶。透明で太陽の光に当たると綺麗に光る姿はまるで天使の降臨のようだ。



中学校2年で学ぶ清少納言の「枕草子」は、リズムがよく表現が豊かで、暗唱に適している教材です。この学習を通して、清少納言が四季のそれぞれの趣を「春は・・・夏は・・・」と書きつづる書き出しを借り、自分ならではの季節感を表す文章づくりに挑戦しています。

作品は、現代語と古典が交差したり、和洋折衷の内容だったり、学校生活の話題が出たりしているところや思春期を迎えている年齢から恋や恋愛感情を織り込むなど、今を伸び伸びと生きている子どもたちらしい様子が良くあらわれていて面白いですね。グループで作ることを通して、自分とは違った表現や感情、感覚に気づき、生徒相互で学びを高めているよさがあります。

わかばを見る子どもたちが増え嬉しい限りです・・・一方で「わかばはどうして長いのか？」



①「校長先生、この写真いつ撮ったんですか。」『これはね、中休みに来た時に撮ったかな。いいことしてるなと思ったから撮りました。』『えっ、気づかなかったな。これ私のクラスです。』

②「私、もう2回わかばに載っちゃった。」『3回目もあるかもよ。』『うん、がんばろう！』

6月29日、わかばを読んでいた女の子たちとの会話の一部です。写真に撮られることに恥ずかしいそぶりを見せても、わかばに載ることはまんざらではないようです。

一方、ある男の子から、「なぜ、わかばってあんなに長いんですか」と、尋ねられました。最近は運動会の内容や連絡などもあり、三枚つづりの6ページになっていたのですが、私自身も文章量、分量が多いなと思っていました。時期的なものでしたので、再び下記の紙面構成の基本に戻ります。

基本的な紙面構成は、4ページを基本として、トップページは校長の基本的な見方、考え方などの内容を、2ページ～3ページは、作品紹介や授業などでの子どもたちや先生方のよさの発見を、最終ページは、事務連絡的な内容を基本としています。

＜ 文章量や枚数が多いと思われる皆様は、お許し願います。 校長 信國寿敏 ＞

世界に広がる日本食文化と最先端技術を目の当たり・・・社会科見学 6/27(小学部6年)



(写真左) 平成30年6月27日(水)、6年生は、大竹浩人教育委員長からプレゼンを使った事前説明の後、スクールバスに乗り、担任2名、校長、事務局員2名の引率のもと、アメリカで活躍している日系企業2社の社会科見学をしました。



(写真中) 午前中は、アメリカに進出して20年の日本の国民食とも言える「豆腐」を製造販売しておられる「Pacific Nutritional Foods, Inc.」様を見学させて頂きました。子どもたちにわかりやすい丁寧な製造過程のプレゼンや本物との出会いである工場内見学をさせて頂き、製造ラインから出る音やにおいなど、まさに、社会科見学の目的である五感で感じとる体験的見学ができました。

(写真右) 午後からは、子どもたちにも馴染みのあるゲームやアニメーションの制作に欠かせないペンタブレットをつくりだした「WACOM Technology Services Corporation」様を訪問させて頂きました。いとも簡単にアニメキャラクターの耳が伸びたり、角が生えたりして変化していく様子に、子どもたちの感嘆の声が説明会場全体に広がりました。

ご協力いただきました2企業の各位並びに、ご支援頂きました保護者の皆様に感謝申し上げます。